

# 2021年3月期 上半期連結業績概要

専務執行役員  
山西 哲司

# 2021年3月期 上半期決算のポイント

社会経済活動の再開により、エレクトロニクス需要が回復基調に。DX（デジタルトランスフォーメーション）関連の需要も堅調に推移し、売上、営業利益は期初想定以上に拡大。

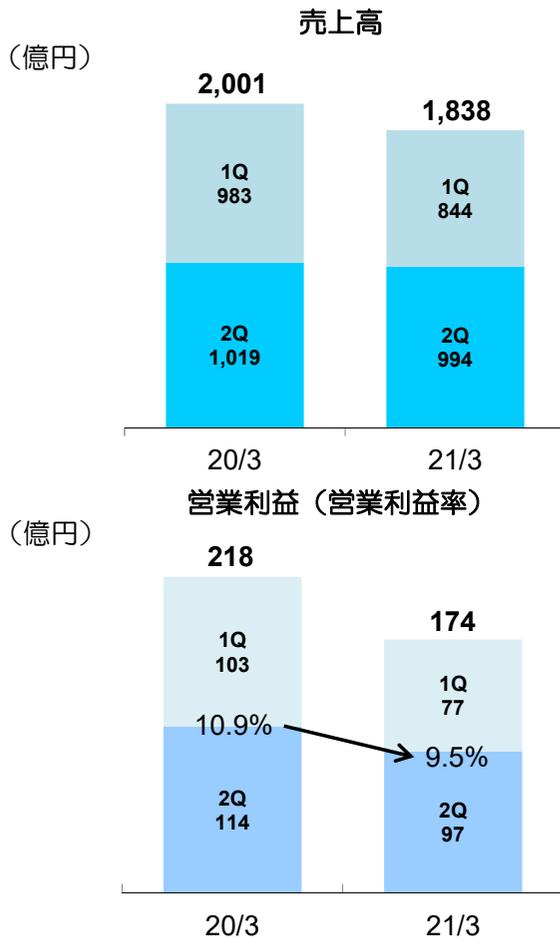
- 売上高は前年同期比2.2%減、営業利益は前年同期比9.3%減
- 第2四半期の売上、営業利益は四半期ベースで過去最高を更新\*  
前年同期比で増収増益を確保
  - 第2四半期より自動車市場向けの受注が急速に回復し、受動部品、センサの販売が拡大。
  - 第2四半期もDX加速の傾向が続き、在宅勤務・授業向けPC、タブレットの需要や、5G関連の需要が堅調に推移し、二次電池、受動部品の販売が増加、全社収益を牽引。
  - 第1四半期に新型コロナウイルス感染拡大の影響で大きく販売が減少したHDDヘッドは、顧客の生産が順調に回復し収益が改善。
  - コロナ影響を見据えた短期的収益改善施策により、全社収益を底上げ。

\*営業利益は2017年3月期に計上の事業譲渡益を除いたベースで比較

# 2021年3月期 上半期連結業績概要

(億円)	2020年3月期 第2四半期累計実績 (2019.4.1~2019.9.30)	2021年3月期 第2四半期累計実績 (2020.4.1~2020.9.30)	前年同期比	
			増減	増減率 (%)
売上高	7,070	6,911	△ 159	-2.2
営業利益	688	624	△ 64	-9.3
営業利益率	9.7%	9.0%	-0.7pt	-
税引前利益	686	632	△ 54	-7.9
当期純利益	449	422	△ 27	-6.0
1株当たり利益 (円)	355.81	334.27	-	-
為替	対ドルレート (円)	108.74	106.92	1.7%の円高
	対ユーロレート (円)	121.51	121.27	0.2%の円高
為替変動による 影響金額	売上高：約139億円の減収 営業利益：約3億円の減益			

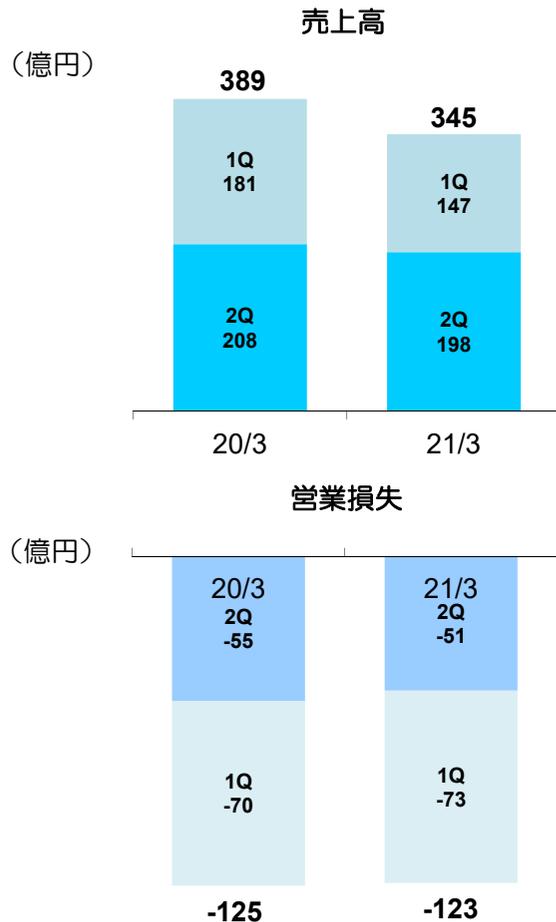
# 上半期各事業の状況（受動部品事業）



売上高 1,838億円（前年同期比8.1%減）  
営業利益 174億円（前年同期比20.2%減）

- セラミックコンデンサ
  - 前年同期比で減収減益。
  - 基地局向け販売が上期堅調に推移。自動車市場向け販売が2Qに前期水準まで回復。
- アルミ・フィルムコンデンサ
  - 前年同期比で減収増益。
  - 自動車市場及び産業機器市場向けの販売が2Qに増加。
- インダクティブデバイス
  - 前年同期比で減収減益。
  - ICT市場向け販売が上期堅調に推移。自動車市場向け販売が2Qに前期水準まで回復。
- 高周波部品
  - 前年同期比で増収増益。
  - 堅調な5G関連需要により、ICT市場向けの販売が好調継続。
- 圧電材料部品・回路保護部品
  - 前年同期比で減収減益。
  - 自動車市場向けを中心に販売が2Qに増加。

# 上半期各事業の状況（センサ応用製品事業）

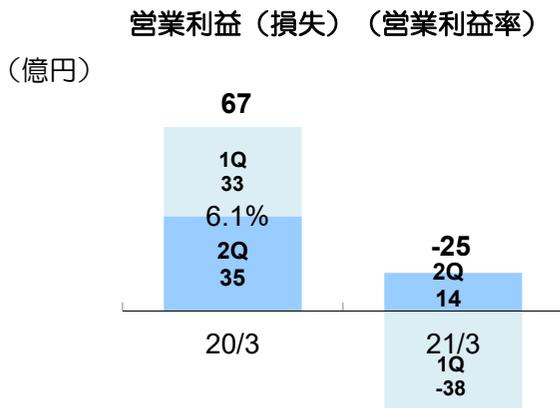
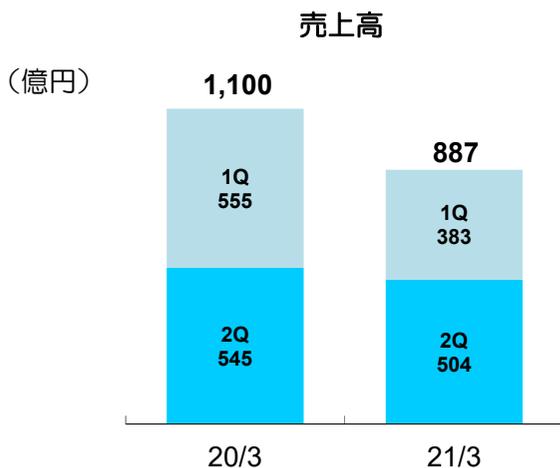


売上高 345億円（前年同期比11.3%減）  
営業損失 △123億円（前年同期比1%減）

## ● センサ

- 前年同期比で減収、営業損失は若干減少。
- 温度・圧力センサは自動車市場向けの売上が2Qに増加。
- TMRセンサはICT市場向けの販売が前期を上回る水準で推移。
- MEMSセンサはICT市場向けの販売が2Qに増加。また、ゲーム機向けの販売が上期は好調に推移。

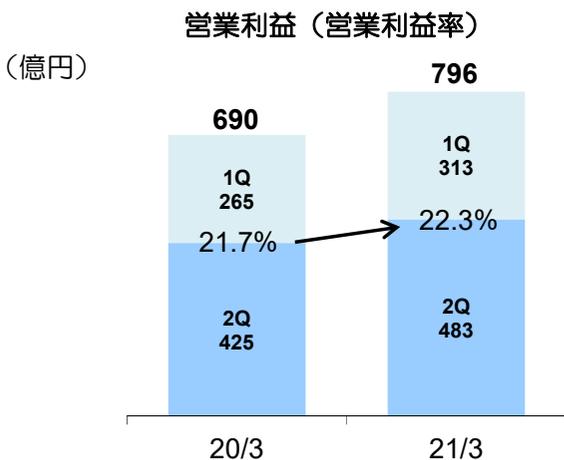
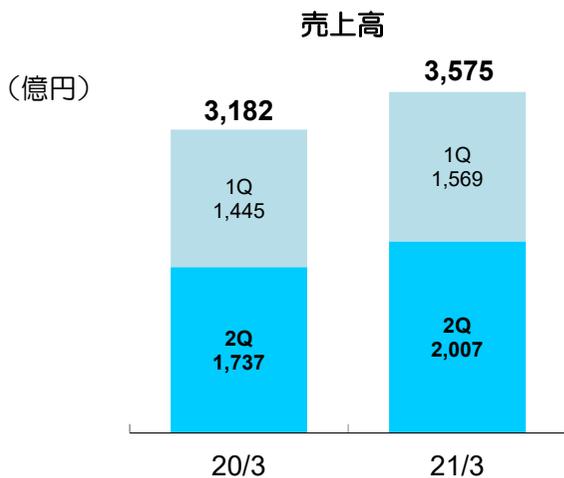
# 上半期各事業の状況（磁気応用製品事業）



売上高 887億円（前年同期比19.4%減）  
営業損失 △25億円（前年同期比－%増）

- HDDヘッド・サスペンション
  - 前年同期比で減収減益。
  - HDD組立事業の売上が前年同期より減少。
  - HDDサスペンションは増収増益。
  - 1Qはコロナ影響による大幅減収で収益悪化も、2Qより顧客生産が順調に回復し収益が改善。
- マグネット
  - 前年同期比で減収、営業損失は減少。
  - 自動車市場向け販売が2Qに増加。

# 上半期各事業の状況（エネルギー応用製品事業）



売上高 3,575億円（前年同期比12.4%増）  
営業利益 796億円（前年同期比15.4%増）

- エナジーデバイス（二次電池）

- 前年同期比で増収増益。
- 在宅勤務・授業増加によるPC、タブレット向けの販売が拡大。
- Non-ICT用途向けのミニセル、パワーセル製品の販売が拡大。

- 電源

- 産業機器用電源は、前年同期比で減収減益。
- 2Qは半導体製造装置・医療関連向けの販売が堅調に推移し、前年同期比、前Q比で増収増益。

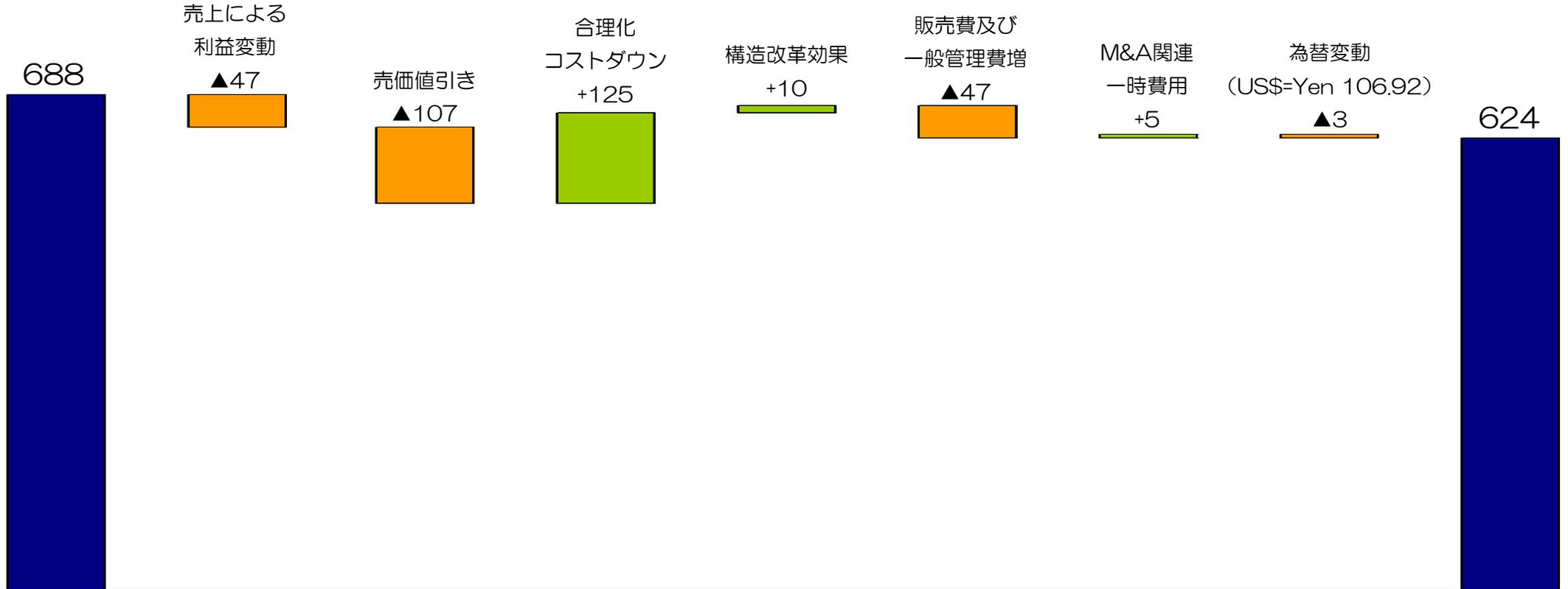
# 営業利益増減分析

2020年3月期  
上半期  
688億円

営業利益 ▲64億円

2021年3月期  
上半期  
624億円

(単位：億円)



# 2021年3月期 第2四半期連結業績概要

(億円)	2020年3月期 第2四半期実績	2021年3月期 第2四半期実績	前年同期比	
			増減	増減率 (%)
売上高	3,702	3,817	115	3.1
営業利益	439	440	1	0.2
営業利益率	11.9%	11.5%	-0.4 pt	-
税引前利益	439	425	△ 14	-3.2
当期純利益	294	290	△ 4	-1.4
1株当たり利益 (円)	232.37	229.83	-	-
為替	対ドルレート (円)	107.39	106.23	1.1%の円高
	対ユーロレート (円)	119.48	124.06	3.8%の円安
為替変動による 影響金額	売上高：約26億円の減収 営業利益：約16億円の減益			

# セグメント別四半期実績

Attracting Tomorrow



(億円)		2020年3月期 第2四半期 (A)	2021年3月期 第1四半期 (B)	2021年3月期 第2四半期 (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)	
					増減	増減率(%)	増減	増減率(%)
売上高	コンデンサ	396	333	386	△ 10	△ 2.5	53	15.9
	インダクティブデバイス	357	274	346	△ 11	△ 3.1	72	26.3
	その他受動部品	266	236	262	△ 4	△ 1.5	26	11.0
	受動部品合計	1,019	844	994	△ 25	△ 2.5	150	17.8
	センサ応用製品合計	208	147	198	△ 10	△ 4.8	51	34.7
	磁気応用製品合計	545	383	504	△ 41	△ 7.5	121	31.6
	エネルギー応用製品合計	1,737	1,569	2,007	270	15.5	438	27.9
	その他	194	152	114	△ 80	△ 41.2	△ 38	△ 25.0
合計	3,702	3,094	3,817	115	3.1	723	23.4	
営業利益	受動部品	114	77	97	△ 17	△ 14.9	20	26.0
	センサ応用製品	△ 55	△ 73	△ 51	4	-	22	-
	磁気応用製品	35	△ 38	14	△ 21	△ 60.0	52	-
	エネルギー応用製品	425	313	483	58	13.6	170	54.3
	その他	△ 6	△ 19	△ 28	△ 22	-	△ 9	-
	小計	512	260	515	3	0.6	255	98.1
	全社および消去	△ 73	△ 76	△ 75	△ 2	-	1	-
合計	439	184	440	1	0.2	256	139.1	
営業利益率		11.9%	5.9%	11.5%	-0.4pt	-	+5.6pt	-
為替	対ドルレート (円)	107.39	107.61	106.23				
	対ユーロレート (円)	119.48	118.45	124.06				

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといいます。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競争条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

また、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は、以下のページに後日掲載いたします。  
[https://www.jp.tdk.com/corp/ja/ir/ir\\_events/conference/2021/2q\\_1.htm](https://www.jp.tdk.com/corp/ja/ir/ir_events/conference/2021/2q_1.htm)